

令和7年9月11日

保護者各位

鳥栖市立鳥栖小学校  
校長 古賀 泰伸

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

### 1 令和7年度全国学力・学習状況調査について

令和7年4月17日に下記の内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。

|                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）以下の①と②が一体的に問われています。                                    |
| ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等。 |
| ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等。                       |
| (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査                                                       |
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。                                          |

### 2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

#### (1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国平均と同程度で、県平均を上回っていました。
- ・学習指導要領の内容の平均正答率の状況で見ると「知識及び技能」については、「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」「(2)情報の扱い方に関する事項」は全国平均正答率を上回っており、「(3)我が国の言語文化に関する事項」においては、全国平均正答率を大きく上回っていました。「思考力、判断力、表現力等」の「C読むこと」については、全国平均正答率を上回っていましたが、「A話すこと・聞くこと」及び「B書くこと」については、全国平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・問題形式別で見ると「選択式」については、全国平均正答率と同程度であり、「短答式」については、全国平均正答率を上回っていました。しかし、「記述式」については、全国平均正答率を下回っていました。
- ・目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題での正答率が特に低い傾向にありました。これらの誤答の原因として、メモから言葉や文を取り上げて書くことはできているものの、文章を読み取って自分の考えを書くことができていないことが考えられます。

#### (2) 算数について

- ・全体の平均正答率は、全国平均を下回っており、県平均をやや上回っていました。
- ・学習指導要領の領域の平均正答率の状況で見ると「C測定」「C変化と関係」においては全国平均正答率を上回っていました。しかし「A数と計算」「B図形」「Dデータの活用については全国平均正答率をやや下回っており課題が見られました。
- ・問題形式別で見ると「記述式」については、全国平均正答率を上回っており「選択式」「短答

式」については、全国の平均正答率を下回っていたものの無解答が少なく全体として積極的に解答できていました。

- ・棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる問題で課題が見られました。これらの誤答の原因として、一目盛りの値や比較して読み取る力などを含め、グラフを正しく読み取ることができていないことが考えられます。

### (3)理科について

- ・全体の平均正答率は、全国平均を下回っており、県平均と同程度でした。
- ・学習指導要領の領域の平均正答率の状況で見ると「「エネルギー」を柱とする領域」においては全国の平均正答率と同程度でした。しかし「「粒子」「生命」「地球」を柱とする領域」については全国平均正答率を下回っており課題が見られました。
- ・問題形式別で見ると「記述式」については、全国の平均正答率を上回っており「選択式」「短答式」については、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いているかをみる問題で課題が見られました。これらの誤答の原因として、顕微鏡の正しい名称等を理解していないことが考えられます。

### 3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査結果から見える本校児童の姿

- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」に対し、肯定的な回答（「している」と「どちらかといえばしている」の合計、以下同様）をした児童は全国平均を上回っていました。
- ・「朝食を毎日食べていますか」に対し、肯定的な回答した児童は全国平均と同程度でした。
- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」に対し、肯定的な回答をした児童は全国平均をやや上回っていました。
- ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」に対し、3時間以上勉強をしていると回答した児童は全国平均を上回っていました。家庭学習の習慣が付いていることが伺えます。

### 4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・基礎的・基本的な学習内容の定着のため、タブレット端末等を活用した「ドリルタイム」を全校統一した取り組みとして引き続き実施します。
- ・国語の授業では、字数制限や条件制限をした上で、文章の要約をしたり、意見を述べたりする学習を取り入れます。
- ・算数の授業では、条件過多や条件不足などの問題に取り組み、必要な数字などを意識させたり、普段から式はどんな意味なのか、数字の式と言葉の式について考えさせたりするようにします。
- ・鳥栖中学校区で実施している「生活リズムアップ大作戦」を通して、自分のがんばりを振り返らせ、よりよい生活習慣を続けようとする意欲の継続を図るとともに、学習規律や生活習慣の定着を図ります。
- ・家庭でも次のようなことを心がけてくださると幸いです。

#### 1 家庭での学習時間をつくってください。

学習時間：（10分×学年数字）＋10分 【年度当初配布「家庭学習の手引き」参照】

◎学習する時間や時間帯を決め、学習習慣を身に付けさせましょう。

◎テレビを見る時間やゲームをする時間を決め、長時間にならないようにしましょう。

#### 2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

◎早めに起床させ、必ず「朝食」を食べさせるようにしましょう。

◎本や新聞など、「文章」に触れる機会を増やしましょう。

◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的に褒めましょう。